

平成 25 年度 第 2 回評議員会 議事録

- [1] 日 時： 平成 26 年 3 月 24 日(月) 午後 7 時 20 分～午後 8 時 00 分
[2] 場 所： 東京都新宿区内藤町 11 番 4 東京都立新宿高等学校 保護者控室
[3] 出席者： 評議員総数 10 名(定足数 6 名)

(1) 出席者 評議員 8 名 樋口博文、小峰 和則、高木 美紀、西出 紀久、山口 久恵、
林 慶治郎、鈴木 仁志、寺村 仁美

理事 1 名 代表理事 村上 光一

(2) 同席者 1 名 吉村 悟(事務局)

[4] 議 案

- (1) 平成 25 年度予算追加
(2) 平成 26 年度事業計画(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)
(3) 平成 26 年度予算(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)
(4) 旅費規程改定

[5] 審議経過及び審議結果

- (1) 評議員西出紀久が議長となり、評議員会の開会を宣言する。
(2) 議案 (1) を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。
(3) 議案 (2) を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。
(4) 議案 (3) を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。
(5) 議案 (4) を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。

午後 8 時 00 分、議長が閉会を宣言

以上

平成 26 年 3 月 24 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 評議員会

議長 評議員 西出 紀久



代表理事 村上 光一



評議員 樋口 博文



評議員 小峰 和則



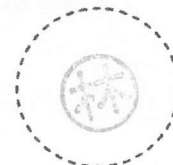
評議員 高木 美紀



評議員 山口 久恵



評議員 林 慶治郎



評議員 鈴木 仁志



評議員 寺村 仁美



第1号議案 平成25年度追加予算

1. 収支現況

- ・平成25年度の財務状況については、収支のバランスもとれ概ね良好である。詳細は別添1を参照。
- ・ただし一部の費目については予算を超過するものがあり、予算を超過した費目の合計金額が予備費総額を越えている。

2. 予算超過費目

- ・10万円以上予算を超過した費目は下記の通りである。

費目	予算	今日までの実績	予算超過額
修繕費	100,000	261,719	161,719
支払助成金	150,000	283,100	133,100
委託費	7,825,000	8,264,960	439,960

- ・修繕費が予算を超過したのは、ボート小屋の修繕費148,239円や水回り点検補修69,800円、が追加発生したため。
- ・支払助成金については小型船舶操縦免許取得者が1名追加となったため。
- ・委託費については以下の通り。
 - 保守点検費 195,260円超過
 - 作業費一本間さん 93,000円超過
 - 統括管理者日当 92,000円超過

3. 追加予算措置

- ・3月末までにまだ支出が発生する可能性があるため、委託費に予算を500,000円追加する。
- ・他の予算超過費目は予備費でカバーする。

4. その他

- ・平成26年度予算編成に際して修繕費、委託費のより厳密な見積を行う。

第 2 号議案 平成 26 年度事業計画

1. 教育活動の支援

- ・ 昨年に引き続き図書の寄贈 10 万円相当を行う。財源としては朝陽同窓会からの寄付を仰ぐ。
- ・ 母校の教育活動の支援をより活性化するため、卒業生の保護者の会を結成する。

2. 館山寮の運営管理

- ・ 昨年に引き続き母校が開催する臨海教室の支援と一般宿泊者への対応を行う。
- ・ 厨房の熱気対策について抜本的な対応策を樹立する。
- ・ またボイラーの老朽化への対応策を実施する。
- ・ 寮の建物について長期設備改善計画を作成する。
- ・ 今年卒業した 66 回生は東日本大震災のため、臨海教室の経験がない。そこで 66 回生に対して、館山寮を一度経験してもらいたいと考える。
- ・ ついては 1 泊に限り宿泊費を免除することとし、66 回生に対し今年の館山寮での宿泊を呼び掛けることにしたい。

3. 水上の土地建物の保管

- ・ 水上寮建物の老朽化に伴い台風または大雪の際倒壊する恐れがある。したがって今年度中に現在の建物を解体撤去し空き地化する。
- ・ 解体工事費として平成 25 年度末までに既に 300 万円を積み立ててあるが、更に今年度 140 万円程度の予算を計上する。
- ・ 撤去に当たっては今までの関係者に声を掛け、バスで現地に行ってお別れの会を開催する。

第 3 号議案 平成 2 6 年度予算

1. 当期経常増減額

- ・前年度予算に対比して今年度予算は約 510 万円の収支悪化となる。
- ・主たる収支悪化の要因は下記の通り。

館山寮のボイラー補修	250 万円
水上寮の解体工事費	140 万円
館山寮の保守点検費増	36 万円

項目	当年度予算	前年度予算	差異
当期経常増減額	-8,393,100	-3,611,780	-5,141,320

2. 経常収益

- ・賛助会員受取会費は昨年実績の 10%増を見込んだ。
- ・寮使用料収入は営業努力により、一般宿泊客の 10%増を見込んだ。
- ・水上寮の解体を行うため、特定資産の全額取り崩しを行う

項目	当年度予算	前年度予算	差異
賛助会員受取会費	4,200,000	3,780,000	420,000
寮使用料収入	9,651,000	9,343,000	308,000
特定資産取り崩し	3,000,000	0	3,000,000

2. 経常費用

- ・旅費交通費には水上寮のお別れ会を開催するためのバス代を計上した。
- ・消耗什器備品費は衣料乾燥機などを昨年度購入したので予算減となった。
- ・修繕費は水上寮の解体工事費 440 万円やボイラーの補修費 254 万円などを計上したので増額となった。
- ・支払助成金は小型船舶操縦免許取得予定者が 1 名増えたためである。
- ・委託費は水回り保守点検の費用 36 万円や総括管理者日当が 20 万円増加したことなどによる。

項目(単位:万円)	当年度予算	前年度予算	差異
旅費交通費	382,300	189,280	193,020
消耗什器備品費	1,030,000	1,229,000	-199,000
修繕費	7,195,500	100,000	7,095,500
支払助成金	291,000	150,000	141,000
委託費	9,406,000	7,825,000	1,581,000

3.その他

- ・館山寮の使用料を一部改定する。

区分		利用者	新利用料金	25年度
臨海教室		在校生(1泊3食付)	5,000	5,000
		教職員(1泊3食付)	5,000	5,000
		支援の卒業生(1泊3食付)	5,000	5,000
一般宿泊	従来棟	1泊3食付	6,000	6,000
		食事不要(1泊)	2,500	4,000
	新築女子棟	1泊3食付	7,000	7,000
		食事不要(1泊)	3,500	5,000
シャワーのみ			1,000	1,500

第4号議案 旅費規程の改定

経緯

- ・現在の旅費では館山寮や水上寮などに出張した際、日当を一切支給していない。
- ・しかし消費税も上がるこの時勢なので、弁当代くらは支給したい。
- ・また館山寮の統括管理者が宿泊する際に現在では6,000円を支給しているが、実際には1日12時間を超える重労働なので、値上げの要望が出ている。

改定案

- ・館山寮、水上寮等都内以外の地域へ出張に際して、日当1,000円を支給する。
- ・館山寮の統括管理者へは宿泊の都度、宿泊料兼日当として10,000円を支給する。
- ・詳細は別添3参照

発効の時期

- ・本旅費規定の改定はこの理事会・評議員会で承認後、直ちに発効する。

予算実績対照表総括表

別添一1

自:平成25年4月 1日

至:平成26年3月17日

	予算	実績	増△減
0 経常収益			
01 基本財産運用益			
011 基本財産受取利息	45,000	29,387	15,613
02 特定資産運用益			
021 特定資産受取利息	2,000	0	2,000
03 受取会費			
031 賛助会員受取会費	3,780,000	3,825,000	-45,000
04 事業収益			
041 寮使用料	9,343,000	9,489,900	-146,900
043 寄付金	250,000	250,000	0
08 雑収益			
081 受取利息	2,000	1,089	911
082 雑収入	5,000	6,000	-1,000
経常収益計	13,427,000	13,601,376	-174,376
1 経常費用			
11 事業費			
111 給料手当	500,000	440,000	60,000
113 旅費交通費	189,280	215,040	-25,760
114 通信運搬費	56,000	50,666	5,334
115 減価償却費	4,048,000	4,046,819	1,181
116 消耗什器備品費	1,229,000	839,239	389,761
117 消耗品費	608,000	590,814	17,186
118 修繕費	100,000	261,719	-161,719
119 燃料費	220,000	220,060	-60
120 光水熱費	440,000	461,338	-21,338
121 賃借料	505,000	477,658	27,342
122 保険料	270,000	266,730	3,270
123 支払負担金	70,000	68,000	2,000
124 支払助成金	150,000	283,100	-133,100
125 委託費	7,825,000	8,264,960	-439,960
129 雑支出	10,000	7,650	2,350
21 管理費			
212 会議費	0	9,622	-9,622
213 旅費交通費	3,000	0	3,000
214 通信運搬費	82,000	82,005	-5
215 消耗什器備品費	0	0	0
216 消耗品費	25,000	13,057	11,943
217 租税公課	81,500	103,311	-21,811
219 雑支出	27,000	37,569	-10,569
31 予備費			
311 予備費	600,000	0	600,000
経常費用計	17,038,780	16,739,357	299,423
経常収支計	-3,611,780	-3,137,981	-473,799

収支予算書 前年当年予算対比

別添-2

	当年度予算	前年度予算	差異(マイナスは減)	差異の理由
0 経常収益				
01 基本財産運用益				
011 基本財産受取利息	33,000	45,000	-12,000	
02 特定資産運用益				
021 特定資産受取利息	1,000	2,000	-1,000	
03 受取会費				
031 賛助会員受取会費	4,200,000	3,780,000	420,000	賛助 10%増
04 事業収益				
041 寮使用料	9,651,000	9,343,000	308,000	一般宿泊客 10%増
043 寄付金	250,000	250,000	0	
044 特定資産取り崩し	3,000,000	0	3,000,000	水上寮解体の為
08 雑収益				
081 受取利息	2,000	2,000	0	
082 雑収入	6,000	5,000	1,000	
経常収益計	17,143,000	13,427,000	3,716,000	
1 経常費用				
11 事業費				
111 給料手当	500,000	500,000	0	
113 旅費交通費	382,300	189,280	193,020	水上寮お別れ会バス代 10万増
114 通信運搬費	56,000	56,000	0	
115 減価償却費	4,048,000	4,048,000	0	
116 消耗什器備品費	1,030,000	1,229,000	-199,000	衣料乾燥機購入 10万円済み
117 消耗品費	568,000	608,000	-40,000	
118 修繕費	7,195,500	100,000	7,095,500	水上寮解体工事費 440万増
119 燃料費	200,000	220,000	-20,000	
120 光水熱費	502,000	440,000	62,000	
121 賃借料	507,000	505,000	2,000	
122 保険料	275,000	270,000	5,000	
123 支払負担金	70,000	70,000	0	
124 支払助成金	291,000	150,000	141,000	小型船舶免許 1名増
125 委託費	9,406,000	7,825,000	1,581,000	水廻り保守点検 36万増
129 雑支出	20,000	10,000	10,000	
21 管理費				
212 会議費	0	0	0	
213 旅費交通費	3,000	3,000	0	
214 通信運搬費	83,800	82,000	1,800	
215 消耗什器備品費	0	0	0	
216 消耗品費	25,000	25,000	0	
217 租税公課	106,500	81,500	25,000	
219 雑支出	27,000	27,000	0	
31 予備費				
311 予備費	600,000	600,000	0	
経常費用計	25,896,100	17,038,780	8,857,320	
当期経常増減額	-8,753,100	-3,611,780	-5,141,320	

旅費規程

平成 20 年 5 月 21 日設定

平成 21 年 5 月 12 日改定

平成 26 年 3 月 24 日改訂

定義

この規定は財団法人朝陽会の業務により館山寮などへ出張する際の旅費を定めるものである。

承認

出張を命じられた者は用件・日時・行程などを文書にて総務部長に届出て承認を受けなければならない。

仮払い

出張に際しては予め仮払いを受け取ることができる。仮払い金額は出張旅費相当分とし、出張後速やかに精算するものとする。

館山寮出張

館山寮へ一般出張する際の交通費、日当、旅費は下記の通りとする。

交通費 東京－館山間の高速バス料金、及び館山－香間バス代相当分を支払う。

日当 1,000 円

宿泊費 7,000 円

開寮期間中に館山寮の統括管理者として出張する場合の交通費、日当、旅費は下記の通りとする。

交通費 東京－館山間の特急バス料金、及び館山－香間バス代相当分を支払う。

宿泊費兼日当 10,000 円

水上寮出張

水上寮へ出張する際の交通費、日当、旅費は下記の通りとする。

交通費 東京－水上間の JR 普通運賃を支払う。

日当 1,000 円

宿泊費 7,000 円

都内出役

都内への出役については電車代、バス代の実費を支給する。

日当は支給しない。

タクシーの利用

必要性が予め認められた場合には実費を支給する。